

# 西川 コミュニティだより

第58号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和6年6月24日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

## 若い人たちに魅力ある地域作りをするには

西川コミュニティ協議会 会長 田中 一男



新緑の季節となりました。冬の間、冬眠しておりました各種樹木も、春にはそれぞれ新しい芽を出し、生き生きとした姿で、私たちに感動を与えてくれます。

さて、昨年度は、未だかつてない猛暑に見舞われまして大変な年でありました。新型コロナウイルスにより、3年間の間に、多くの方がお亡くなりになり、コミュニティの事業におきましても何一つできない状態でありました。

2023年度5月より、インフルエンザと同じく2類から5類に移行いたしました。まして、事業計画を立てたものに対して、地域住民の協力の元で全て行うことができませんでした。

緑の音楽祭を始めとし、西川まつり、時代激まつり、敬老会等、新型コロナウイルスの音楽祭を始めとし、西川まつり、時代激まつり、敬老会等、新型コロナウイルス

特に西川まつりにおきましては、子ども盆踊り大会を始めとし、メッセージ花火等、取り入れさせて頂きまして、昨年度と変わらぬ寄付を頂戴し、心より感謝申し上げます。

地域を活性化するには、自分たちで作った農作物を、いかにして全国にPRし発信していくことが必要です。インターネットを通じて発信していくとともに、他の地域の若者を西川地域に呼び寄せ、一緒に作業を体験して頂き、地域の魅力を如何にしてPRしていくかにかかっているのではないのでしょうか。

若い人たちが、住んで良かった西川地域を目指し、皆様と共に、作り上げていくかであります。私たち一人一人が、真剣に考えていかなければなりません。

また、少子、高齢化等により、空き家も多く見られます。それらの空き家を利用して、人々が多く集まる場所にすべく努力していかなければなりません。

新潟市と連携して、補助金を出して頂くと共に、これらの課題や西川地域の活性化のために、皆様と一緒に努力して頑張っていきたいと思います。



▲田植え風景 (後ろは鎧郷小)



▲紫陽花と角田山 (九番町)

■西川地域の総人口:10,323名(-27名) ■男:5,001名(+2名) ■女:5,322名(-29名) ■世帯数:4,100戸(+39戸)

( )は、前号との比較(令和6年5月末日現在)

令和6年度西川地域コミュニティ協議会総会結果報告

宮川 喜朗  
コミュニティ協議会事務局長

去る5月11日(土)午後1時30分から西川多目的ホールにおいて、多くの来賓を迎え、令和6年度の総会が開かれた。定足数70名中41名出席、委任による者20名で、過半数を超え、総会は成立した。総会は、田中会長のあいさつに始まり、来賓の重川隆廣県議会議員、堀峰一西蒲区長の挨拶を頂きました。続いて、議事に入りました。

西川地域コミュニティ協議会関係

第1号議案 令和5年度会務・事業報告  
原案のとおり承認

第2号議案 令和5年度会計決算報告質疑  
「緑の音楽祭」の額が大きい。子供向けの事業を実施するなど予算を回すことはできなかったのか。

【答】ミニ傘鉾づくり、子供創作活動、子供盆踊りなど事業を実施している。

原案のとおり承認

第3号議案 役員の改選・選出について  
原案のとおり承認

第4号議案 令和6年度事業計画  
原案のとおり承認

第5号議案 令和6年度会計予算  
原案のとおり承認

西川地域コミュニティセンター指定管理  
令和5年度決算・令和6年度予算  
原案のとおり承認

西川地区社会福祉協議会関係  
令和5年度事業報告・  
決算報告

令和6年度事業計画・予算  
社会福祉協議会役員  
原案のとおり承認

以上をもって総会が閉会した。



西川地域コミュニティ協議会  
役員名簿(主な役員の方々)

【総務部会】 会 長 田中 一男 副 会 長 多田 清 副 会 長 橋本 佑治 副 会 長 高橋 良明 副 会 長 土田 正博 監 事 小林 喜一郎 監 事 野沢 修 監 事 宮川 喜朗 事務局 長 宮川 喜朗	【安心安全部会】 部 会 長 安沢 典臣 副 部 会 長 泉井 義人	【福祉保健部会】 部 会 長 橋本 佑治 副 部 会 長 目黒 恵子	【環境整備部会】 部 会 長 渡辺 静男 副 部 会 長 高木 茂	【広報・まちおこし部会】 部 会 長 江端 直義 副 部 会 長 灰野 直義	【地域振興部会】 部 会 長 多賀 雄一 副 部 会 長 古島 健 副 部 会 長 佐藤 知巳
--	--	--	---	--	--

お世話になりました

前事務局長 七宮 晃

新型コロナウイルス感染症が始まると同時に事務局長となり、四年間務めさせて頂きました。

この間、行事の縮小をはじめ、どのように地域活性化に取り組んでいくかを模索してきました。新型コロナウイルス感染症が下火を迎えた三年目によく、集団的な事業も開催することができるようになり、時間や日数、内容の縮小に取組み、何とか行事の維持に努めてまいりました。行事は、やってみないと良さがわからないということが実感できたと思います。

行事を進めていくうちに、年々、パワーアップしてきているのが、地域振興部会面々です。また、福祉保健部会の方々や広報・まちおこし部会の方々も、事業内容の改善に取り組んでいただきました。

事務局長として、ミスが多かった仕事内容でしたが、大勢の方々に支えられてやり通すことができたこと心より感謝しています。

新事務局長あいさつ

新事務局長 宮川 喜朗

この度、縁あって事務局長を仰せつかった宮川と申します。前職は旧西川町及び新潟市職員として、務めてまいりました。

今後は、地域のために微力ではありますが、力を尽くしてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

# 西川地域コミュニティ協議会（令和5年度決算報告と令和6年度予算計画）

## ■令和5年度 決算報告書

（単位：円）

〈収入の部〉			〈支出の部〉		
科目	決算額	摘要	科目	決算額	摘要
会費	1,335,240	全自治会完納	総務費	1,549,527	
補助金・助成金 新潟市などの 各種補助金・ 助成金	3,237,800	運営費助成金……………1,100,000	会議費	659,500	報償費、事務給与……………522,400 研修会参加費・部会運営費……………137,100
		地域活動補助金	事務費	374,916	消耗品費……………48,295 通信費（電話、ネット、切手等）326,621
		傘鉾人形制作……………113,000			
		緑の音楽祭……………400,000			
		健康づくり事業……………322,000			
		広報誌発行……………400,000			
		テント購入補助……………592,000			
害虫駆除剤助成金……………310,800					
受託金	1,654,400	西川地区敬老会……………1,654,400	渉外費	433,664	印刷費、リース等……………252,955 各種負担金、祭礼等……………180,709
繰越金	513,045	前年度繰越金……………513,045			
諸収入	1,018,597	防犯協会助成金……………49,937	事業費	5,671,013	
		集団資源回収奨励金……………177,360	安心安全部会	0	
		害虫駆除負担金……………310,800	福祉保健部会	1,796,256	敬老祝品等……………1,661,553 健康講座……………105,161 カーリンコン軽運動……………29,542
		ミニ傘鉾参加費……………2,000			
		スポーツ大会参加費……………43,500	環境整備部会	809,636	病害虫駆除剤……………621,720 クリーン作戦手袋……………2,940 小中花壇整備……………184,976
		緑の音楽祭協賛金……………435,000	地域振興部会	2,190,527	傘鉾人形制作継承事業……………115,751 緑の音楽祭……………1,092,449 テント購入費（3張）……………621,500 スポーツ玉入れ大会……………360,827
コピー代金……………87,828	広報まちおこし部会	874,594			
雑収入			117,843	預金利息……………15 ふるさと事典協力費……………30,000	自主事業費
総合計	7,876,925		予備費	0	
			総合計	7,220,540	

656,385円を令和6年度へ繰越

## ■令和6年度 予算(計画)

（単位：円）

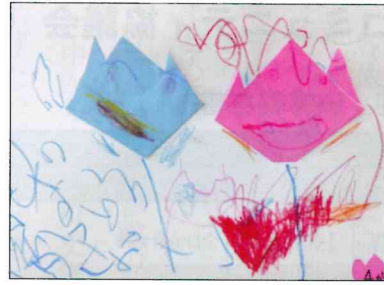
〈収入の部〉			〈支出の部〉		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
会費自治会負担金	1,320,000	全自治会完納	総務費	1,700,000	
補助金・助成金 新潟市などの 各種補助金・ 助成金	2,860,000	運営費助成金……………1,100,000	会議費	780,000	報償費、事務給与……………530,000 研修会参加費・部会運営費……………250,000
		地域活動補助金	事務費	380,000	消耗品費……………50,000 通信費（電話、ネット、切手等）……………330,000
		傘鉾人形制作……………200,000			
		緑の音楽祭……………400,000			
		健康づくり事業……………400,000			
		広報誌発行……………400,000			
		害虫駆除剤助成金……………360,000			
受託金新潟市 より委託金	1,700,000	西川地区敬老会……………1,700,000			
繰越金	656,385	前年度繰越金……………656,385	諸支出金	90,000	受信料……………50,000 慶弔見舞金……………40,000
諸収入	655,000	防犯協会助成金……………45,000			
		集団資源回収奨励金……………170,000	安心安全部会	7,000	ロックの日活動費……………7,000
		スポーツ大会参加費……………40,000	福祉保健部会	1,840,000	敬老祝品等……………1,700,000 健康講座……………110,000 カーリンコン軽運動……………30,000
		緑の音楽祭協賛金……………400,000			
雑収入	40,015	コピー代……………40,000 預金利息……………15	環境整備部会	824,000	病害虫駆除剤……………620,000 西川地域クリーン作戦……………4,000 小中花壇整備……………200,000
総合計	7,231,400		地域振興部会	1,850,000	傘鉾人形制作継承事業……………150,000 緑の音楽祭……………1,300,000 スポーツ玉入れ大会……………400,000
					広報まちおこし部会
			自主事業費	10,000	
			予備費	102,400	
			総合計	7,231,400	

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ③⑤

ガンバって かいたよ！

和光幼稚園



「チューリップ」

チューリップが  
楽しそうに  
笑っているよ！

年少組 杉村 紗来

「雨の中のお花」

雨が降ってお花が嬉  
しそうにしているよ。  
アリさんもお散歩して  
いるよ。

年中組 小幡 怜生



「お花畑」

お花の甘い香りに  
誘われてクマバチャ  
たくさんの虫たちが  
集まってきたよ。

年長組 大滝 連太郎



【国際通信】

ラスベガスでスキー体験

アメリカラスベガス在住 目黒 光子

私がラスベガスに住み始めてとても驚いた事の一つは、ラスベガスでスキーができる、という事でした。夏は灼熱の砂漠地帯であるラスベガスで、冬にウインタースポーツができるとは夢にも思っていませんでした。実際、ラスベガス市内で雪が降る事は稀ですが、市内から車で一時間弱の所にマウントチャールストンという富士山並みの高い山(標高3,632メートル)があり、冬になるとラスベガス周辺で唯一のスキー場がオープンします。スキーシーズンは12月下旬から4月頃まで。リフトが四基だけのとても小さなスキー場ですが、初級から上級コースまでが揃い、ラスベガスから日帰りで行けるとあって、シーズン中はとても賑わいます。

昨年の冬、ここでスキー体験をしました。私にとつて約25年振りでした。そして、今年の冬も再び足を運ぶ事になりました。子供の頃、新潟でスキー経験のあった私にとつて、スキーを再開できた事はとても嬉しく、さらに、昨年スキーを始めた息子と一緒にスキーを滑る喜びはひとしおでした。

スキー場のゲレンデから見下ろす山の景色も素晴らしいですが、スキー場からラスベガスへ向かう帰りの一本道の下り坂では、今まで見たことないような壮大な山々の景色が広がり圧巻です。これらの景色を見るのもま

た、スキーへ行く醍醐味の一つであります。

マウントチャールストンは、冬にスキーや雪遊びができるだけでなく、夏は避暑地となり、二年を通してレジャーを楽しむ事ができるので、ラスベガスに住むうえで欠かせない存在となっています。スキー体験を通して、ラスベガスに住む魅力が一つ増えました。次のスキーシーズンも今から楽しみでなりません。



【コミュニティセンター講座案内】

フラワースークル・レモンリース

川村 純子

飾られた花を見て癒されたことはありませんか？

花を見てリフレッシュできたり、リラクゼーション効果が得られたり、更にフラワーセラピー！風水効果・幸福度アップなどなど。人によいことをもたらす花。「フラワースークル・レモンリース」はそんな花を楽しむことができるサークルです。

毎週火曜、月4回、会員の方にはご都合の良い日を選んでご参加頂いています。「花が好きで飾りたいのですが、どうしたら素敵に飾れますか？」という疑問にもお応え出来ると思います。

ある日のレッスン、参加された皆さんは同じ花材で同じ形のアレンジに挑戦しました。さて出来上がりは…それぞれ全く個性的でそれぞれがとても素敵な作品に仕上がったのです。

皆さんの熱心さにはいつも感動感激いたします。お花の好きな方大歓迎です。

お問い合わせは  
川村まで  
025(278)2510



【防災】

熱中症に注意！

西蒲消防署西川出張所長 石山 拓己

気温が高くなると熱中症による救急出動が急増します。救急車は限りある資源ですので、本当に救急車が必要な方のため、熱中症を理解し、未然に防止しましょう。

熱中症は、屋内外の高温多湿な環境に長くいることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整機能が働かなくなる状態を指します。子供や高齢者は体温調整が難しいので、特に注意が必要です。

- 熱中症を予防するためには、
- ① こまめに水分や塩分を補給する。
  - ② 無理をせず、適度に休息する。
  - ③ エアコンや扇風機で温度調整をする。
  - ④ 外出する際は、涼しい服装で帽子や日傘を活用する。
  - ⑤ 日頃から健康を管理する。

以上、5つのことを心掛けましょう。  
熱中症が疑われる場合は、涼しい場所へ避難し衣服を緩め、体を冷やしましょう。意識の低下、自分で水が飲めない、動けない、全身のけいれんなどの症状があれば、すぐに119番に通報しましょう。



【高校生奮闘記】

新潟工業高校・建築部の挑戦

地震による「かのうハウスとの別れ」

新潟工業高校 建築部顧問 品田 浩子

新潟工業建築部の生徒達と進めてきた「かのうハウスプロジェクト」。旧前山洋服店を地域の方が気軽に集える場所にしたい、という思いで4年前から進めてまいりました。畳の床を板に張り替え、欠けていた漆喰壁を塗り直しました。灯りコンテ



スト、だいろアート展、紙芝居、先輩をお招きしての講演会等、多くのイベントを地域の皆様のご協力を頂きながら、「かのうハウス」が地域に浸透した気がしていました。高校生の建築甲子園で「まちづくり委員長特別賞」も頂きました。歩みはゆつくりでしたが、生徒もとても楽しんでいました。しかし、この度の能登半島地震により、建物の中で安全に作業できる耐震化には、立て直す位の金額が掛かるとの事。大変残念ですが、かのうハウスを手放す事を決めました。

今まで応援してくださった皆様に心より感謝いたします。ありがとうございます。



〔郷土史料〕

『西川町史考』(その一)

西蒲曾根郷ゆかりの文人研究会

各地の図書館で郷土図書(資料)の棚をのぞくのは楽しみだ。地域の歴史や個人史を、専門家から趣味人、一般の方、多彩な人々がまとめている。

さて、西川図書館の郷土図書を改めて概観し、中から『西川町史考』(全三十五冊)を取り上げたい。創刊は昭和四十五年(一九七〇)三月、タイトルは『西川町史考』その一だが、表紙中央部に「西川町の地名(一)」と大きく印刷してある。発行者は西川町教育委員会、印刷は鈴木印刷所による。内容は副題通り町の地名(地字名)にふりがなを付けて、折り込み地図をはさんで丁寧に解説している。執筆は植木誠一郎、田子了祐両氏。

「その2」から「その20」までの表紙中央には「史料・民具紹介と古老の話」と大きく印刷してある。町の歴史をどこに視点をおいて捉えるかが明確に副題にうたわれているのだ。反面、町の文化的特色が民具と古老の存在にあったといえるかもしれない。昭和四十八年二月

時点で一六〇点の民具を収集したと記している。

「その21」から表紙のデザインが変わり、『西川町史考』のタイトルは墨書になる。途中から、田子、本間則久氏をはじめ、西川町文化財調査審議会の皆さんが編集者として奥付に表記されるようになったが、メンバーの一人、古澤嘉夫氏の筆による。

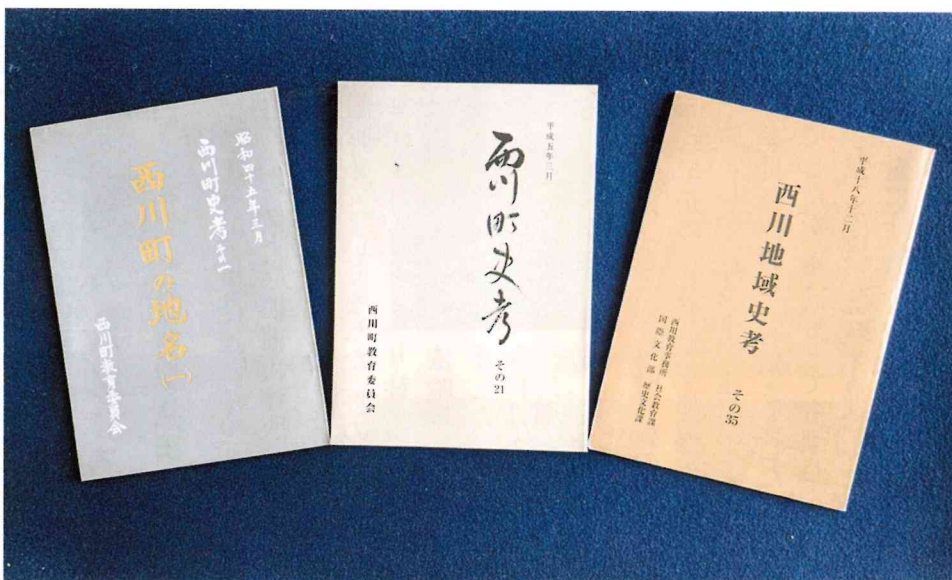
「その33」は二五九頁と、最も頁数が多い。この年三月、西川町は新潟市と合併した。

「その34」(H18・3刊)では、前年の合併を受け、『西川地域史考』とタイトルを変えた。そして「その35」(H18・12刊)で終刊を迎える。この号は総目次を載せており、部門別、執筆者、題名索引を収め、全号を通覧するのに便利である。

まとめると、本叢書には昭和四十五年から平成十八年まで三十六年間にわたる歳月の、濃い専門性と身近な話題が集載されている。『西川町史』なる本は刊行されていないが、この三十五冊はそれに代わるものとして十分な価値を持つ。県下他の市町村史に比べ、編集及び刊行の道のり自体が歴史になっている

点にこそ、特色がある。

なお『西川郷土史考』(R2・3刊)には、『西川町史考』全巻の総目次を改めて整理して収めているので参照されたい。



【文化】

思い出の作品

西蒲中央病院バスドライバー

小黒

末廣(西區)



こちらは朱鷺で、生の飛んでいる様子が撮れて大変感激しました。昔は巻地区にも佐渡から飛んで来ました。



撮影に夢中になっていた頃の写真です。山の雪は飯豊山です。ちょうど、いま時期の田植え直後です。場所は福島県の上野尻です。

【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」パート④

拝む身も 拝まるゝ身よ 墓詣で

下村 百里



【大意】

秋。盂蘭盆会のお墓参りに来たよ。墓地の掃除をし、墓石を洗い、お線香とお花を手向けている私だが、やがてはこの墓に入り、拝まれる身でもあるのだ。

※対句の軽やかなリズムで、重い生死を詠む

雪折れに 日の暮を鳴く 雀かな

内藤 吟月

【大意】

大雪が降った。降り積もった雪の重みに耐えかねて、木々や竹が折れてしまっているよ。嗚呼、日も暮れてきてチュンチュンと雀たちが鳴いているなあ。

※大雪が降った雪折れの景を詠む



【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」パート⑤

麦秋や 亂れがちなり 嫁の髪

本間 琴友



【大意】

麦の穂が実り、黄色に熟した夏。辺り一面に黄色の生気が立ち昇り、爽やかな風が吹いている。こんな麦秋の頃は、働き者の嫁の髪も乱れがちであることよ。

※「麦秋」と「嫁の髪」の取り合わせに活気のある句

蟬鳴くや 流れに冷やす 馬の脚

眞島 嵐郷

【大意】

夏。太陽がかつと照り付ける中、賑やかに蟬が鳴いている。馬と共に今日も一日一生懸命働いた。疲れ汚れた馬を、夕刻川に連れて行き、脚に水をかけ冷やしてやっているのだよ。

※人と馬の交歓を詠んだ句



【図書館】  
国民の知る自由を保障することを目指した図書館司書の日常

西川図書館 辰口 裕美

今回は、国民の知る自由を保障するために、悩みながら奮闘している図書館司書の登場する2作品を紹介いたします。

『図書館戦争』有川浩/著

物語の舞台は、公序良俗を乱す表現を取り締まる「メディア良化法」が施行された世界。この法律を根拠とした「検閲」から表現の自由を守るために「図書館の自由法」が生まれた。この架空の法律の元となったのが、「図書館の自由に関する宣言」で、作者はこのポスターを実際の図書館で見かけて執筆したとのこと。

民主主義は、誰もが自分の考えを表現できることが前提の社会です。図書館は、民主主義の根幹を保障するために存在しています。とはいえ、内容はアクションあり恋愛ありのエンターテインメント小説です。『税金で買った本』ずいの/原作 系山岡 / 漫画

実際に図書館で働いていた作者の経験に基づいた業界の裏側に切り込んだ物語。選書、著作権、レファレンスの醍醐味、ありがたいけれど少し困った来館者等。

なお、『税金で...』は新潟市立図書館では所蔵していませんが、「ファンブック」はあります。ほんぽーと新潟市立中央図書館が載っています。

**図書館の自由に関する宣言**

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

公益社団法人 日本図書館協会

2024年 西川の祭り写真コンテスト 作品募集

西川祭り写真コンテストは、一般市民や見物客の皆さまに広く開かれたコンテストです。

以下の要領に従い作品をプリントしてお寄せ下さい。祭り実行委員会で審査し、結果を12月下旬発行の「西川地域コミュニティだより」誌上(予定)。10月19・20日開催の西川文化協会文化祭会場(予定)で発表・展示します。

■題材:「西川祭り」をテーマにした未発表作品(SNS含む)。

■応募方法:最大A4またはワイド四つ切りまで。  
(家庭用プリンター使用可) 1人3点まで。  
作品裏面に 題名、撮影場所、住所、氏名、電話番号を記入した紙を貼付け郵送または持参。



- 応募規定:
- ①西川の祭りで撮影したものに限りです。
  - ②肖像権は撮影者(応募者)が所有しているもののみ応募可能です。
  - ③応募者本人が撮影し、すべての著作権を有している作品に限りです。
  - ④他のコンテスト等に応募または応募予定の作品では応募できません。
  - ⑤作品の著作権は応募者に帰属します。
  - ⑥主催者・共催者は作品を無償で優先的に使用でき、西川まつりの活性化のために使用できるものとします。(その際にはトリミングや加工を施すことがあります)
  - ⑦応募規定や応募方法などに違反したことが判明した場合は、賞を取り消すことがあります。
- 参加料:無料  
■入賞:最優秀賞1点(賞金2万円)、だいろ賞1点(賞金1万円)、かさぼん賞3点(賞金5千円)  
■締め切り:2024年9月24日(火)5時まで

応募先 〒959-0423新潟市西蒲区旗屋701番地2  
電話0256-88-5900  
西川地域コミュニティ協議会「西川祭り写真コンテスト」係り

おめでとーうございます

第78回 西川地域の入選の方々

- ◎日本画  
渡辺達也(七番町)・安藤正雄(川崎)
- ◎洋画  
大橋豊子(八番町)・桑原一枝(矢島)
- ◎写真  
重川 實(川崎)

- 本間克之(升湯) ・ 本間 泉(升湯)
- 田中恵子(鱸) ・ 山川直衛(鱸)
- 佐野洋司(四番町) ・ 小林ゆり子(押付)
- 目黒綾子(槇島)



編集後記

蒲原平野の青田に角田・弥彦・国上の山々の新緑が映える時節を迎えました。年度始めの今号に玉稿を賜りました皆様に感謝申し上げます。今年度も西川地区のよさとがんばりが広く内外に発信され、実り多い広報誌となるよう皆様方のご協力をよろしくお願いします。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義  
榎本 博 土田正博